

1868 <sup>SSGA</sup> 2018

肥前さが幕末維新博覧会

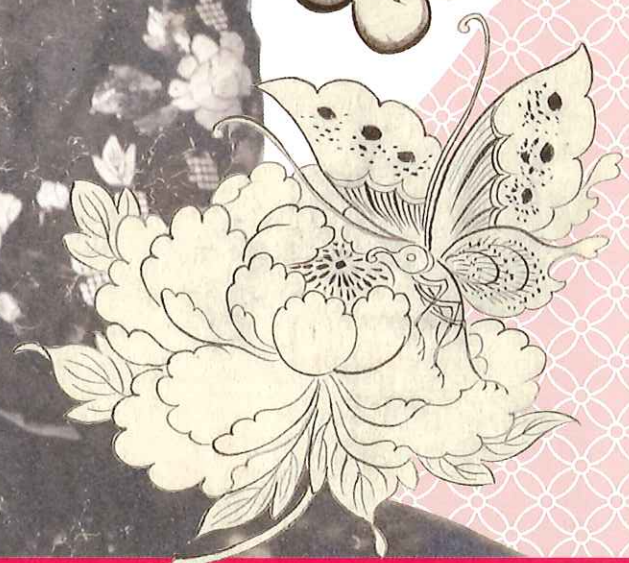
佐賀県立歴史博物館

2018.3.17 - 2019.1.14

貢姫没後100年記念  
鍋島直正公の長女

# 貢姫

みつひめ



11.27 <sup>2017</sup> 月

1.20 <sup>2018</sup> 土



澁古館  
The Museum CHOKOKAN  
NABESHIMA

(0952) 23-4200

<http://www.nabeshima.or.jp>



開館時間:午前9時30分~午後4時 入館料:300円(小学生以下は無料)  
休館日:日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日) ※1月14日(日)は開館  
会場:澁古館(佐賀市松原2丁目5-22/佐賀中央郵便局 東隣) 主催:公益財団法人鍋島報効会

\*本展の一部は、佐賀市の平成29年度 澁古館を活かしたまちづくり推進事業の助成を受けています。

## 父・直正公からの 自筆の手紙

貢姫宛ての手紙の中では、蒸気軍艦を手に入れた喜びを素直に吐露していたり、江戸で痘瘡が流行していることを知り再度の予防接種を勧めたりと、教育・財政・軍事改革で知られる幕末の名君直正公の、愛娘を想う父親としての一面を垣間見ることができます。



## 17歳で川越藩主松平家に嫁ぐ

17歳で川越藩主松平直侯公に嫁いだ貢姫。「黒漆塗葵紋杏葉紋散重箱」では、交互に配された家紋が両家のご縁を示しています。

## 才色兼備。幕末佐賀の名君の愛娘

貢姫(健子)は、天保十年(一八三九)、十代佐賀藩主鍋島直正公の待望の第一子として佐賀城で産声をあげました。江戸に移った七歳から盛姫(直正公正室)の養育をうけ、十七歳で川越藩主松平直侯公に嫁ぎました。ところが直侯公は六年後に亡くなったため、髪をおろし慈貞院と称します。慶応四年(一八六八)には、江戸の不穏な動きを心配した父の勧めで二十三年ぶりに江戸から佐賀に帰郷。武雄で転地療養し、晩年期を迎えていた父たち家族と一緒に佐賀城で過ごしました。明治四年(一八七二)父の葬儀で上京して以降も鍋島家の庇護のもとで八十歳の天寿を全うし、大正七年(一九一八)に亡くなりました。

本展は貢姫没後二〇〇年、明治維新一五〇年を機に開催するものです。幕末の藩主の長女として養育を受け、薙刀や乗馬など文武の道に励まれた貢姫ですが、本展では自筆の書画、用いていた楽譜や茶道具、調度品、また婚姻にまつわる古文書、結婚後も文通を続けた父から送られた直筆の手紙などを通じ、おもに文事の面からその生涯を振り返ります。

## 暮らしの彩り

牡丹や藤、菊の花々の刺繍や鹿子紋が施された華やかな打掛。古写真の中で貢姫が羽織っている打掛自体は伝来していませんが、類似するデザインの本品と同様に華やかであったと思われます。



## 雅楽や和歌、書画にも才能を発揮!

貢姫が雅楽を始めたとき、直正公は喜んで「笙や笛の楽譜を貸しますよ」「習得するには時間がかかりますよ」とアドバイスをする手紙を送っています。また、和歌や書画に関しても貢姫は数々の著名人のお手本を入手して嗜みを深め、才色兼備の姫君でした。



14歳の作!

「すごーい!」

モデルは誰だろう?



イメージ?



立体感も見事!

## 武家女性の嗜み。ハンドメイド小物

懐紙などを入れて携帯するための「紙挟」。隅々にまで施された華やかで繊細な装飾も貢姫自身によるお手製です。

## 第9回 香道体験会

### 「初春の香りを楽しむ」

要事前予約

平成30年 1月14日(日) 10時~/11時~/13時~/14時~/  
場所: 徴古館 2階フロア 定員: 各回20名  
お点前: 梶島 禅徹先生(志野流香道九州松隠会)・佐賀香遊会  
参加費: 2,000円(企画展もご覧いただけます/抹茶付き)

本格的な香木の香りを楽しむことができる、徴古館の新春恒例イベント。今年は源氏物語の宇治十帖ゆかりの名所を香りでも楽しむ組香「宇治名所香」を行います。雅な遊びを楽しめる装いでお出かけ下さい。お着物でのご来場は大歓迎です。



ご利用案内 | 企画展を5回観覧できる  
¥300円 (小学生以下は無料) ともにお得な年間パスカード  
販売中!(1枚1,000円)  
9:30-16:00 ※誰とでも共有OK!  
日曜・祝日 ※2018年3月迄有効  
年末年始

交通アクセス | 無料駐車場あります  
長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ車で約20分  
佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車  
JR佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ | Facebookも更新中!  
info@nabeshima.or.jp  
http://www.nabeshima.or.jp  
(0952)23-4200 (公益財団法人鍋島親政会)

徴古館  
The Museum CHOKOKAN  
NABESHIMA